



届けたいあなたの声を！  
有田町議会だより

## INDEX

- ◆委員会役割紹介 P2~
- ◆令和4年一般会計補正予算  
6億9360万円を追加補正し  
121億3116万円に P4~
- ◆ここが知りたい！徹底討論！  
一般質問14人 P8~

R4年10月31日発行

有田町議会だより NO-62

# 議会の常任委員会の仕事とは？

有田町に限らず議会では議案等を専門的、効率的に審査、調査するために「常任委員会」が設けられています。議員は必ず1つの常任委員会に所属することになっており、各常任委員会の定数も定められています。議案などの議決すべき事項は本会議において決定するのですが、議会で取り扱う問題は広範囲にわたり複雑化していますので、より専門的・効率的に審査をするための内部組織として各常任委員会を設置しています。

## ◆ 委員会紹介 総務常任委員会

総務常任委員会は、定数6人で構成され次のような所管を担当し、本会議において付託を受けた案件につき、審査を行います。

- ① 条例や予算及び決算に関する事。② 基本財産の造成と管理及び処分に関する事。
- ③ 総務に関する事。④ 町税に関する事。⑤ 国民健康保険税に関する事。
- ⑥ 介護保険料賦課徴収に関する事。⑦ 防災に関する事。⑧ 他の委員会に属しない案件。

例えば「ふるさと納税→有田町ふるさと応援寄附金」の  
使い道や基金残高はどうなっているのか？

### 令和3年度決算書から



議会閉会中に総務常任委員会勉強会を開催した。執行部からは副町長と所管の総務課長、財政課長、まちづくり課長に同席してもらい、議会事務局長にも出席をお願いした。勉強会では、マイナンバーカードの普及促進策や災害時の避難の対応、交付税措置などが議題となった。各委員とも熱心に質問し、有意義な勉強会が開催できた。

8月4日 第2回総務常任委員会勉強会より▶

### ◀ 決算書

総務常任委員会では、歳入・歳出の予算全般から産業建設、文教厚生それぞれの常任委員会で具申事項があれば、当委員会で再審査することになる。

### 総務常任委員会勉強会



### 総務常任委員会

委員長：中島 達郎

副委員長：蒲原多三男

委員：久保田 豊, 原田 一宏, 池田 榮次, 今泉藤一郎

## ピックアップ 常任委員会の紹介



# 町の抱える課題の見える化！

## ◆ 委員会紹介 産業建設常任委員会

産業建設常任委員会は、商工観光産業・農林産業・道路河川整備建設・クリーンセンター事業・上下水道事業・南部工業団地まで、有田町の稼ぐ力・安心安全の環境整備を担当しています。

例えば 土砂災害の備えは大丈夫か！  
予防治山事業→落石防止整備

### 治山事業の現場視察



山を守る治山事業は、山崩れ・地すべりなどの災害から町民の生命・財産を守るための事業である。落石対策工の施工現場を視察、町民の安全がどう守られているかを建設課長に説明を受けた。

◀6月28日 東庁舎前岩崎地区の現場視察現場のプラクトフェンス

水道事業については漏水による収益を生まない無収入水が増えている。水道管の耐用年数は40年で全管取り替えに150億円、年間4億円も取替費用が掛かることになる。公共下水道事業工事は本年度で終了する。

今後の事業の展開について、浄化槽事業は浄化能力のある地域に住宅地の開発する必要があることを確認した。

9月30日 上下水道課との勉強会▶

### 産業建設常任委員会勉強会



### 産業建設常任委員会

委員長：手塚 英樹 副委員長：諸隈 洋介  
委員：岩尾 匡，樋渡 徹，松尾 文則

# 令和4年9月 議会議案の 審議結果 (一部抜粋)



議案番号	提出議案	審議の結果
議案第37号	令和3年度有田町一般会計決算認定及び特別会計決算認定について 審査結果、予算の執行状況は妥当と認められた。	賛成全員
議案第39号	有田町税条例等の一部を改正する条例について 地方税法等の一部を改正する法律、関係政令及び省令が公布されたことに 伴う、現行条例の一部改正。	賛成全員
議案第40号	有田町過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例（令和3 年有田町条例第15号）の一部を改正する条例について 所得税法等の一部を改正する法律及び租税特別措置法施行令等の一部を改 正する政令が公布されたことに伴う、現行条例の一部改正。	賛成全員
議案第41号	令和4年度有田町一般会計補正予算（第2号）について 歳入歳出を693,601千円増額し、予算総額を12,131,163千円とする。	賛成全員

## 👍 クローズアップ

### ☆有田町原材料等価格高騰対策支援金事業／ 対策支援補助金 2800万円

#### 「有田町原材料等価格高騰対策支援金」

新型コロナウイルス感染症の影響がつづく中、原材料等の価格高騰により収益が悪化している、町内で事業を営んでいる中小事業者・小規模事業者に対し、一時金を交付することにより、負担の軽減と事業の継続の支援を図ることを目的としています。

- 1, 申請受付期間：令和4年12月21日(水)まで
- 2, 支援対象者：町内に事業所を有する中小事業者及び個人事業主
- 3, 支援金対象：原材料高により仕入額（原材料や製品、燃油等）が上昇し、価格転嫁ができていない事業者
- 4, 支援金額： 法人 100,000円 個人 75,000円
- 5, 支援金対象要件

以下のいずれかに該当すること

(ア)令和4年4月から9月までのうち任意の連続する3ヶ月間（以下「対象期間」という。）の仕入額が前年（令和3年）同期間の仕入額より10%以上増加し、かつ、対象期間の売上高に占める仕入額の割合が前年同期間の割合より増加していること。

(イ)対象期間の売上高に占める仕入額の割合が前年同期間の売上高に占める仕入額の割合より10%以上増加していること。

※ア、イとも、比較対象とできる月は、1カ月間営業していることを要件とします。

※令和3年7月2日～令和4年4月1日で開業した方も比較期間の特例があります。

## 「秋の有田を満喫！ ありたdeお得クーポン券」

### ☆買い物クーポン券発行事業/ クーポン券発行事業補助金 5000万円

有田町独自のお買い物クーポン券を発行することにより、町民及び観光客（秋の陶磁器まつり来有客等）の個人消費を喚起し、町内事業者と町民生活の応援をすることを目的としています。

### 1. 本事業の当録店舗（加盟店：ステッカー等を店頭表示）で、購入金額に応じて、次回使用できるクーポン券がもらえます。

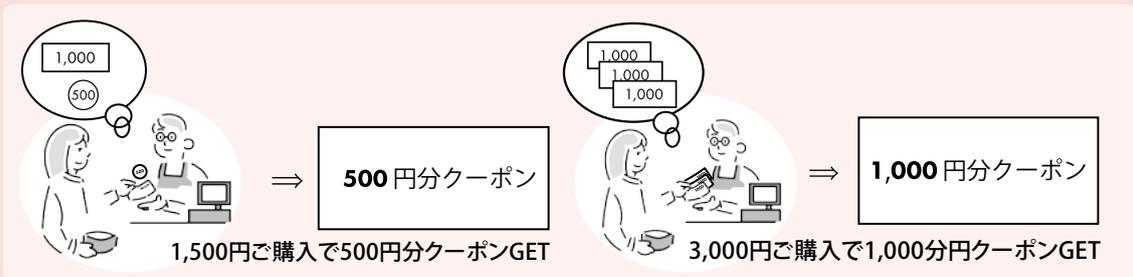
①クーポン券1枚当たりの額面は500円（利用時の釣り銭無し）

②プレミアム率30%

\* 下限：1,500円（税込）の買い物で500円分（500円クーポン券を1枚）発行

\* 上限：39,000円（税込）の買い物で13,000円分（500円クーポン券を26枚）発行

\* 「SAGAおいしーと食事券2022」との併用は不可。



### 2. キャンペーン期間

（発行、利用期間については、状況により短縮・延長の場合あり）

\* 発行期間：令和4年11月3日～令和4年11月30日まで

\* 利用期間：令和4年11月3日～令和5年1月10日まで

### 3. 登録店舗について（実施主体：有田観光協会）

町内に店舗または事業所を営み、個人消費者向けに商品の販売やサービス業の提供等を行っており、「クーポン券取扱店舗登録申込書」を有田観光協会へ提出された事業所

\* 有田観光協会、有田商工会議所、有田焼卸団地協、佐賀県陶磁器商業協、佐賀県陶磁器工業協、肥前陶磁器商工協、有田料飲店組合所属の事業者は原則、クーポン券使用と発行の両方を行うことができます。上記各組合に属さない事業所については、クーポン券の使用のみが可能となります。

#### ◆クーポン券が使えない物や事業所・施設

①金券等の換価性の高いもの。 ②土地、家屋、車輛等の資産形成に関わるものの購入。

③事業活動に伴う原材料、機械類及び仕入商品などの経費とみなされるもの。

④その他このクーポン券発行事業の趣旨にそぐわないものは、使用不可。

また、病院等の医療施設、介護施設、社会福祉協議会、性風俗関連特殊営業所、宗教法人、政治団体等は対象外。

# 9月定例議会委員会審議

## 産業建設

### 常任委員会

商工、環境、農林、土木建設、上・下水道、農業集落排水、浄化槽、宅地分譲などに関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 手塚 英樹  
副委員長 諸隈 洋介

▼令和3年度有田町一般会計決算認定及び特別会計決算認定

樋渡委員 腰岳健康の森

公園の遊具の撤去は、

農林課長 撤去はしていない。

松尾委員 中樽住宅の建て替えは全棟協議を。

建設課長 全棟で今後の方向性を検討する。

手塚委員 サンコーポ

ラス有田の入居状況は。

建設課長 60戸中53世帯の入居があり入居率は88・33%である。うち佐賀大学生3戸の入居がある。

▼有田南部工業団地造成事業特別会計



▲サンコーポラス有田

諸隈委員 工業団地造成

概算工費が1年間で増額している現状は。

まちづくり課長 昨年単価の見直しを行い、かなり増額している。造成の時期は今のところ決まっていない。

▼令和4年度有田町一般会計補正予算(第2号)

岩尾委員 買い物クーポン

券の注意事項はどこに表記するのか。

商工観光課長 クーポン

券裏面に取扱い店舗や使用範囲を記載する。

諸隈委員 告知方法と期間を年内にできないか。

商工観光課長 告知については、観光協会と協議中である。使用期間は年末年始の買い物も考慮して1月10日までとした。

手塚委員 PRはどうするののか。

商工観光課長 広報10月号に掲載し、また、9月・10月に開催予定のイベント時に陶磁器まつりのチラシを配布し、周知を図りたい。

▼令和4年度有田町公共下水道事業会計補正予算(第2号)

令和4年度有田町水道事業会計補正予算(第2号)

上程されたすべての議案は全員賛成で可決すべきものと決しました。

## 文教厚生

### 常任委員会

民生、保健、医療、福祉、介護、教育に関することについて審議します。

(委員会構成議員 5人)

委員長 藤 誠一郎  
副委員長 松永 俊和

▼令和3年度有田町一般会計決算認定及び特別会計決算認定

梶原委員 高齢者支援の

配食サービス事業について、昨年度より配食数が増えているが、その理由は。

健康福祉課長 配食数の増加については、一人暮らしの高齢者が増えていることが考えられる。自己負担は500円で、町負担が300円、合計800円で社協に委託している。

梶原委員 不登校者数は。

教育長 不登校とは、年間30日以上休んでいる児童で

ある。令和3年度末で小学校が14人、中学校が27人。令和4年7月末で小学校が7人、中学校が13人という状況。委員会を立ち上げ、不登校者数減少へ取り組んでいる。

▼令和4年度有田町一般会計補正予算(第2号)

浦川委員 障害者福祉総務事業の生活のしづら

さに関する調査の目的



▲配食サービスの様子

は。

健康福祉課長 4年に一度、在宅障害児や障害者の実態調査。有田町は1調査区が対象。支援施策の基礎資料とするため、生活実態とニーズを把握することを目的に実施される。

**福島委員** 子どもの未来応援地域ネットワーク形成支援事業の説明を。

子育て支援課長 子どもの居場所づくりを目的とした国の補助を受けた事業で、社協が困窮子育て世帯に対して食料の訪問提供を行う。

**松永委員** 地域介護・福祉空間整備等施設整備補助金の内容説明を。健康福祉課長 認知症の高齢者グループホーム等防災改修等支援事業として実施。バルコニー改修は、全額国庫補助(上限773万円)の対象である。グループホーム1件分を計上する。

▼令和4年度有田町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

**藤委員** 10月から医療費の窓口負担割合が変更となる。2割負担対象者の見込み数は。健康福祉課長 令和4年

### 総務常任委員会

総務に関すること、他の委員会に属しないこと、全般について審議します。

5月末時点では462人。被保険者数は3456人で13%の見込みとなる。

上程されたすべての議案は全員賛成で可決すべきものと決しました。

(委員会構成議員 6人)  
委員長 中島 達郎  
副委員長 蒲原多三男

▼令和3年度有田町一般会計決算認定及び同特別会計決算認定

**原田委員** ふるさと応援基金の用途について、複数の議員から様々な意見が出ているが。

総務課長 新年度予算編成を行う段階で財政課の査定において調整し、適応する事業であれば、充当させていく。**中島委員** 基金の用途として、今後学校建設も

視野に入れていけると聞いたが。

副町長 学校建設の基金ということであれば、教育施設整備基金に積むことになる。

**原田委員** 消防団員457人中、町職員は何人在籍しているか。総務課長 6〜7人程度である。

**原田委員** 地域とのつながりを考え、町職員の加入促進をお願いする。

▼有田町職員の勤務時間、休暇等に関する条

例及び有田町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例

**今泉委員** 町内の民間企業も実施可能か。

総務課長 国の育児休業法の改正に伴い、民間事業所も育児支援の取り組みが行われる。

**今泉委員** 男女共同参画社会の推進など、民間事業所でも実施できるように町が取り組むことが重要と考えるが。

総務課長 民間事業所との連携は難しい。連携を推進できるような町の取り組みを、充実させていくことが必要

だ。

**今泉委員** 条例を改正するのであれば、民間事業所に波及させる責任があるが。

総務課長 民間事業所等への周知も含めて検討していく。

**池田委員** 国や県からの通知に、民間事業所への指導を条件付けされているのか。

総務課長 おそらく、事業所への周知もするようになっている。上程されたすべての議案は賛成多数で可決すべきものと決しました。



▲築56年曲川小学校校舎

# 伝統的建造物保全と防災・防火対策は



もろくま ようすけ  
諸隈 洋介 議員

## 答 内山地区全体の防災面の向上に努める



▲今年5月の大樽地区火災現場横の空き地の写真

### ▽伝統的建造物の保全 改修は

**議員** 先月の小倉北区の巨過市場一帯では二度の火災で甚大な被害が起きた。被災者は細心の注意を払っていたにも関わらず火事は起こった。原因究明が待たれるが、密な構造だけは確かだ。有田でも江戸時代「文政の大火」では暴風雨により、皿山地区50人以上の命が

失われ、大火による焼失家屋は850軒にのぼるとの記述がある。まさに近年日本の災害にも通じる。5月8日の大樽の火災では焼けた家屋の南に道路があり、西隣は老朽化のために解体され空き地になっていて、この事が類焼の拡大を防いだ可能性は高い。伝統的建造物保全事業に防災、特に防火対策は入って

いるのか。

文化財課長 火災の延焼を防ぐために空き家などを取り壊し、防火帯にすることはできないが、保存地区への支援メニューに防災設備の整備があり、初期消火のための消火栓の設置などを含めて、地区全体の防災面の向上に努めていく。

### ▽ふるさと納税を活用した寄付物件の保全と活用

**議員** 旧青木龍山邸の改修計画や旧青木龍山邸及び小路庵の今後の活用と現在の進捗は。商工観光課長 旧青木龍山邸は古民家再生企画コンテストなどで活用方法を検討したが、現在決定はしていない。建物の老朽化が見られ、大幅な改修が必要であり、今後の検討課題である。小路庵は来年4月からの指定管



▲上段→小路庵 下段→旧青木龍山邸

理に向け事業者を募集中である。情報発信を含めた観光拠点として内山の活性化に役立つ施設として活用したい。  
**議員** ふるさと応援基金は現在約20億円強。今後も増える可能性は高い。ふるさと納税を原資に、町に寄付された既存物件を観光拠点や宿泊施設等に利用できる形で改修できないか。

財政課長 ふるさと応援基金は現在約22億3千万円であり、年々増える傾向にある。これまでも小路庵の外構工事等には使っているが、今後は旧青木龍山邸改修も含め、事業を精査したうえで有効活用を図りたい。  
**議員** すでにアイデアは出尽くしているのので、先の選挙で信任された町長が思い切った施策の実行を判断すべき。  
町長 旧青木龍山邸と小路庵は大切な寄付物件なので業界発展の拠点となるよう、大胆に活用していく。

# 有田版CCRCの検討を



ひ わたし とおる  
樋渡 徹 議員

## 答 議論と準備が必要

### 2025年問題

#### ▽高齢化社会対策

**議員** 認知症患者の増加、老々介護、孤独死、孤立死といった問題に対する町の取り組み状況は。

健康福祉課長 町では高齢者の方が住み慣れた地域で安心して生活ができるように、高齢者の総合相談窓口として「地域包括センター」を設置し、介護に関する悩みや心配ごとへの対応のほか、健康や福祉、医療に関する様々な支援策を検討し、対応している。

**議員** 新型コロナウイルス感染症拡大による、外出の自粛やデイ



サービスなどの利用が減少した結果、要介護の増加や、介護度が悪化する事例が増えている。さらに、認知症やうつは、都市部より地方が多いと言われている。町の認識と対策は。

健康福祉課長 有田町は、介護保険認定者の状況で認知症の割合が全国と同規模人口の町に比べてとても多いとの認識である。予防に

地区	人口	65歳以上	世帯数	1人暮らし老人			老夫婦世帯
				男	女	計	
東地区	10,880	3,835	4,558	189	435	624	557
西地区	8,099	2,767	2,968	107	190	297	338
計	18,979	6,602	7,526	296	625	921	895
老人世帯計							1,816

▲令和4年4月 有田町65歳以上単身世帯と夫婦世帯

においては、生活習慣病の改善や早期発見が重要であり、引き続き対策を講じていく。

#### ▽有田版CCRC構想

**議員** 町内では「通いの場」や「サロン」「トリム体操」など、高齢者が医療や介護を受けることなく過ごせることを目的とした活動がなされている。高齢者が心豊かに安心して暮らし続けるには、現居住地の中で、住民間の

交流が重要とされている。そこで、今注目されているCCRC（継続的ケア付き高齢者コミュニティ）の考え方で、有田版「生涯活躍のまちづくり」ができるのか。CCRCについては、現在は都市圏から近隣への移住を考えているが、今後、地方版への対策も考慮されると思われるが。

健康福祉課長 第3の人生を過ごす方々が移住することにより、消費、雇用が生まれ、介護医療施設や介護サービスの向上が図られる。また移住者の子ども世代の移住も見込めるなど、人口減少の改善も期待される。議員提案の空き家等地域資源の活用にも繋がる。十分な議論と準備が必要である。

**議員** 交付金、補助金など見逃すことなく、対応をお願いしたい。

#### 日本版CCRCとは

（Continuing Care Retirement Community）  
高齢者が健康な段階で入居し、  
終身で暮らすことができる生活共同体  
「都市部で生活する高齢者が、自らの希望で地方に移り住み、地域社会において健康でアクティブな生活を送るとともに、医療・介護が必要な時には継続的なケアが受けられるような地域づくり」と定義されている。  
政府はこれを「生涯活躍のまち」と名づけ、予算をつけて普及に力を入れている。

#### ▽生活ごみの個別収集

**議員** 「有田町一般廃棄物戸別収集要綱」について、周知の方法は。住民環境課長 毎年広報等でお知らせしている。

**議員** 広報だけでは周知となっていないので、月に一度は要介護者や老人世帯を訪問している民生委員やヘルパーにもお伝え頂いてはどうか。

住民環境課長 健康福祉課と協議を行い実施したいと思う。



いわお ただし  
岩尾 匡 議員

# 内山グランドデザインへの取り組みは

## 答 各課題の実証実験を試みる

### 内山グランドデザイン

**議員** 6月議会で拠点となる用地を町で購入となったが、利用目的の開示がない。予算をつけた以上、大枠の説明は必要である。内山地区再生の最優先課題は。

まちづくり課長 有田内山グランドデザインでは住民アンケートやインタビュアーなどで、様々な課題を抽出し、①人口減少対策、②生活利便性の向上、③産業振興、④観光振興の4つの課題に分類している。特に空洞化に歯止めをかけるため、「産業振興」と「人口減少対策」が急務。また、商工会議所移転や老朽施設解体などが、札の辻周辺に影響を及ぼすのではと懸念される。このため、旧佐賀銀行有田支店の用地を年内



▲町のホームページより

に取得予定である。

**町長** グランドデザイン自体は大きな流れを示したものだ。それぞれに実施計画を立てる。

**議員** これまでも様々な施策がなされてきたが、次のステップ、人口流出と利便性、コミュニティの希薄化への施策は。

まちづくり課長 まだ十分な検討が進んでいない。必要に応じて検討委員会や住民説明会を設ける。現時点で詳

細な返答ができない。

**議員** 住民や関係機関との協働も必要である。地域コミュニティや住民との接触が希薄である。各課題の精査の後、町民へのお知らせと民意収集の方法は。

まちづくり課長 内山地区の区長へ資料を配布している。町HPにも掲載し公開している。町長 現時点、大枠の合意の段階である。今

後、用地の契約などを明確にしてからのスタートとなる。現状、近隣住民の要望は「ATMの設置や売店の誘致を」あるいは「観光自体を充実させるべき」など各人の立場での意見が多く、整理がつかない。用地についてはグランドデザインのきっかけであると捉えている。何が本当に必要かを見極める実証実験を試み、住民との距離を縮め、課題解決に向け委員会を立ち上げる。

### 有田町のSTEAM教育

**議員** 横断的な学び、STEAM教育（A）について、アート（芸術）に加え、同じく基幹産業であるアグリカルチャー（農業）を教

### STEAM教育

- Science（科学）
  - Technology（技術）
  - Engineering（工学）
  - Art（芸術・リベラルアーツ）
  - Mathematics（数学）
- などの枠を横断して、問題発見、問題解決力を習得する学び
- Aにアート・芸術+Agriculture（農業）を統合した教育を！

育に統合できないかとの提言もあった。ものづくりの工程や農作物を育てる過程を見届ける教育も重要と考える。何か実践を検討していることがあれば紹介いただきたい。教育長 有田町そのものが教室で農業や自然も教育の中にあり、子どもたちが取り組む教材は豊富にある。社会教育の方面からも推進していきたい。農業ではないが、小学生を対象とした町内の花屋さんとの講座や共同栽培などの活動も試みる。

# 里親制度に対する町の考えは



はらだ かずひろ  
原田 一宏 議員

## 答 子どもの健やかな成長に必要な制度である

### 里親制度

**議員** 保護者の病気・家出・離婚など様々な理由で親と暮らせない子どもたちを、自分の家庭に迎え入れ養育する仕組みを里親制度というが、町内の里親の数と受け入れ数は、子育て支援課長 町内の里親登録は2人で、町外の児童を受け入れていただいている。

**議員** 児童虐待が子どもたちに深刻な影響を与えているが、児童虐待等相談件数と町内の子どもたちで里親に委託されている人数は、子育て支援課長 新規虐待相談件数は、令和3年度で県内2、232件、町の対応件数は



▲厚生労働省HPより

新規18件である（継続を含めると37件）。里親に委託された町内の子どもはいない。

**議員** 里親制度に対する町の考えは、子育て支援課長 虐待を受けた児童や養育者がいない児童にとつて、家庭での生活は大変重要で、子どもの健やかな成長のために必要な制度と考えている。

**議員** 里親委託の課題や問題点は、子育て支援課長 マツチングがうまくいかなかったケースもあると聞いている。県では「佐

賀県里親支援こねくと」に委託し、里親の研修やマツチング支援、委託後の支援を行っている。

町としては、子どもの福祉・生活の向上のために何が必要かを考え、児童相談所等と協力・連携を取りながら、支援を行っていききたい。

**議員** 里親登録を増やす方法と今後の町の方向性は、子育て支援課長 昨年



▲佐賀県里親支援「こねくと」パンフレット

から、「こねくと」と共に「ゆいたん」で里親力フェを開催し、実際の体験談を聞いて知識を深めていただいている。また、回覧で周知を図り、パンフレットの配布や広報での啓発を行っていく。里親になって頂く方を広く求め、子どもたちの安心安全な生活を守れることを願っている。

**議員** マイナーカード普及支援策の詳細は、まちづくり課長 国は「デジタル社会の実現に向けた重点計画」で、カード普及率100%を目指している。有田町は県内でも普及率が低いので、全町民に行渡る推進策と原油・物価高騰支援策を合わせた形で5千円の商品券

### 町民・事業所支援

を支給するものである。

**議員** カードを持たない町民への支援は、まちづくり課長 今のところない。今後、地方創生臨時交付金の追加があれば、対応していきたいと考えている。

**議員** 県内他市町でも買い物クーポン券発行などの物価高騰支援策があるが、町の支援策はあるか。

商工観光課長 11月からプレミアム率30%の買い物クーポン券発行事業を行う予定。議会終了後、参加協力できる店舗（料飲店含む）向けの説明会を開催する。また、町内の中小企業・個人事業主向けに、原油・原材料等価格高騰対策として、法人10万円、個人7万5千円の支援金事業を予定。詳細は広報・HPでお知らせする。

町政を徹底追求！

一般質問

議会だよりに掲載している議員の一般質問の文責は各議員にあります。



くぼ たゆたか  
久保田 豊 議員

# ふるさと納税についての使い道

## 答 優先順位をつけながら有効活用

### ふるさと納税

**議員** ふるさと納税の現在の状況を。総務課長 寄付額は順



調に伸びていて、令和3年度は14億1300万円の寄付があったが、今年度は8月末現在4、826件の寄付数であり、横ばい。金額は若干減少している。

**議員** 寄付の使い道は。

総務課長 一、未来を担う有田の人づくり。二、食と器の特色ある町づくりを推進する。三、有田町の豊かな原風景を守る。四、地域医療と健康福祉の充実。五、人情あふれる楽しいまち作りを目指す。六、おまかせ応援、有田の環境を守ること。以上である。

**議員** ホームページ上では具体的な用途が分かりづらいが、他のことに使ってもよいのか。

総務課長 約22億円の残高があり、これから計画する事業などの費

重な財源として活用していく。

**議員** 寄付金の使い道の用途を、納税者に周知しているのか。

総務課長 町のふるさと納税サイトで報告している。

**議員** ふるさと応援寄付金を活用して、町のトイレの整備を早急にできないか。

財政課長 観光トイレの整備にも、この財源を使うことはできる。ただし、優先順位をつけながら有効活用を図る必要があるかと考えている。

**議員** 優先順位と云うが、トイレ問題は以前からの懸案事項であり、「さすが有田町のトイレ」と言ってもらえるように。また、入口には「ふるさと納税で作られた」とアピールしてはどうか。

町長 トイレの件は課題だと思いが、提案さ

れて、すぐできるというわけではない。時代に合ったトイレとはどういうものかを踏まえてきたらと思う。

**議員** 今はスピードの時代である。優先事項と云うが、何が優先事項なのかを、執行部側の考え方を情報公開しながら、行ってほしいと切に願う。今後の寄付額の戦略は、どうなっているのか。

総務課長 令和3年度は、14億円を超える寄付をいただいた。商工会議所を中心とした関係者の努力や熱意、連携の成果だと考えている。ポータルサイトを活用しているが、多くの方に見ていただけるように、広告・新聞・雑誌・SNS等での記載も現在行っている。10月からはワンストップ(注1)の一環として、オンライン申請のスタートを予定している。

(注1) 複数の用事を1カ所で済ませられること

# 選挙の投票率低下について



まつお ふみのり  
松尾 文則 議員

## 答 由々しき問題だと認識

町長 由々しき問題であると認識している。平成から令和に代わり、行政や議員職は他人事のような遠い存在になってきている。町長・議員に親しみを持っていたり、親しむような取り組みが必要である。



▲全国で展開されている移動投票所 (出所：総務省HP)

### 選挙の投票率アップ

議員 国政選挙においては投票率が50%台、町議会選挙においては20年で82%から15%も低下した。町長の所見は。

議員 現在の取り組みは。

総務課長 成人式での啓発活動・広報誌掲載・ケーブルテレビの活用・中学生には選挙への関心を高めてもらうために選挙ポスターコンクールを行っている。

議員 広報に記載があった投票の交通支援と郵便による不在者投票についてはぜひ、お願いする。

投票率アップはいろいろと奥深い時間がかけてでも上げるようにしなければならぬ。国政選挙70%・町選挙85%の目標を立て、町民が町づくりに興味を持つようにしなければならぬと思う。総務課長 18歳以上の方には選挙を身近に感じてもらうために選挙立会人の要請等を行っているが、手が足りない。

い。今後、ご指摘の移動投票所も、多岐な方面での検討を継続する。

町長 選挙管理委員会と町にお願いするが、町自体がわくわくするような明るい町をつくる姿勢を見せれば目標達成も遠くないと思うので、議会と一緒に頑張っていけたらと考えている。

議員 この件で若者・町民が町づくりに興味を持ち、考えるようになれば、議員のなり手不足も解決し、活気ある素晴らしい町になる。

### 少子化に伴う今後の小中学校の再編成

議員 執行部にコロナ対策や企業誘致をお願いしても、学校建設が



▲老朽化が進む西有田中学校校舎

喫緊の課題であると言われる。私も少子化や学校の老朽化が進み、建設・再編成は重要であると認識している。現在までの検討状況は。教育長 学校の今後については中長期的に考えていくことは重要であると認識している。早急に審議会を立ち上げ検討する時期に来ているので、課内では説明資料の作成、審議会

### 中学校部活の地域移行

を立ち上げる条例改正に向け作業を進めている。議員 学校で一番古いのは西有田中学校だと思いが築何年になるか教育長 西有田中学校で建設後62年となる。議員 生徒の急速な減少と校舎の老朽化が喫緊の問題である。スピード感を持って取り組んでいただきたい。

議員 今後のスケジュールは。学校教育課長 土日の部活指導を2025年までに段階的に地域移行するため、協議していく。議員 部活動でなくても地域移行できるか。教育長 現在も学校と指導者が協議し連携を取りながら行っている。ので移行できる。

# 耕作放棄地の問題意識は



浦川 和彦 議員

**答** 重要な課題であると認識している

## 耕作放棄地問題

**議員** 耕作放棄地が増加している原因は、農業従事者の高齢化、担い手不足などで増加の一途をたどっている。

農地は洪水をせき止め、また火災の延焼を抑えるなど、多面的な防災機能を備えているが、耕作放棄地は、雑草が生い茂り景観が損なわれ、イノシシや猿など野生動物の侵入が平地にも及んでいる。



▲久万高原棚田キャンプ場（愛媛県）

ゴミの不法投棄地域住民の生活環境をも破壊される。

**議員** 営農者は水・環境保全に日々取り組みられているが、行政として耕作放棄地の問題意識は。

町長 重要な課題であると認識している。

現状の農地の維持は、集落単位で話し合いがもたれており、地域ごとの解決があると考ええる。

## 耕作放棄地や棚田の利活用

**議員** 全国各地で耕作放棄地や棚田の経営資源を活かしたキャンプ場が人気を呼んでいる。

町内にも適合した地域があるが行政としての支援策は。

農林課長 地域の中で実施される場合は、町としても協力したい。

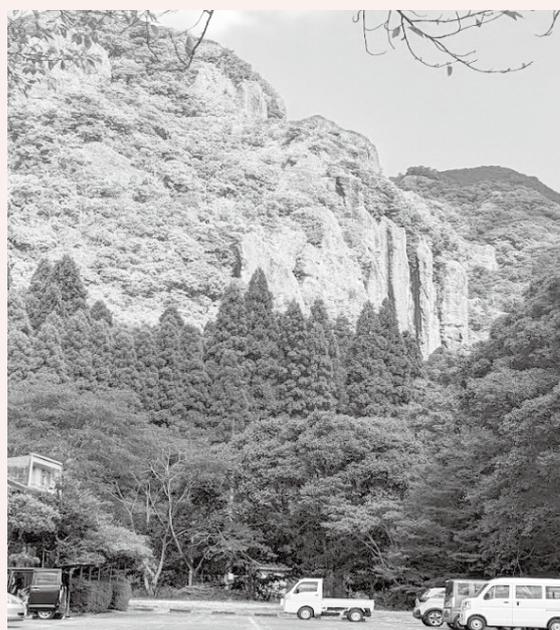
## 竜門キャンプ場及び有田ダム周辺の環境整備

**議員** 竜門キャンプ場と山内町乳待坊キャンプ場の利用者は比較にならない数字だ。

乳待坊は独自にホームページが開設され、インスタで拡散され、集客アップに繋がっている。受付もオンライン、WiFiも完備で職場のワーケーションにも活用できる。用具一式のレンタルで手ぶらでキャンプ。テントサウナやドラム缶風呂もあり、多彩なイベントにも挑戦されている。

この違いをどのように受け止めるか。

農林課長 乳待坊は指定管理で維持されている。一方当町の竜門キャンプ場はリピーターからは手を加えないでほしいという声も聞いている。



▲有田の奥座敷・竜門峡

**議員** リピーターの声は理解できるが、今はキャンプをする目的も多様化している。

キャンプ場の再整備は、整備費用が少なく観光分野を重視した町おこしなど、多くの地方自治体が事業として取り組まれている。多様性にあった竜門キャンプ場の再整備を求めます。

町長 多様性は必要。行政が管理すると規制もあるので、自由に

きるように、課題をクリアして早い段階で対応を検討したい。

**議員** 白川キャンプ場周辺の再整備は。

町長 白川キャンプ場周辺は活用すべきところである。竜門ダム・岳の棚田も含めて自然を生かした観光・活用方法を今後検討していきたい。

◇その他の質問  
『部活動改革』の進捗状況

# 早急に審議会の立ち上げを



まつなが としかず  
松永 俊和 議員

## 答 12月議会へ審議会の議案を上程したい

### 小・中学校校舎 整備

**議員** 西有田中学校は改築の時期に来ていると聞くと、町内の小・中学校の現状は、

学校教育課長 特に西有田中学校は築62年経過、ほとんどが40年以上経過しており老朽化が進んでいる。

**議員** 出生数は全国で令和元年に82万人、令和4年度には70万人台に落ち込む見込みと報道されている。

た。少子高齢化は町でも深刻な状況である。町の小・中学校の生徒数の現況と予測数は、学校教育課長 有田小 96人・中部小 481人・曲川小

学校名	築年数
有田小学校	4年
中部小学校	18年
曲川小学校	北側 56年
	南側 41年
大山小学校	東側 43年、35年
	南側 47年
有田中学校	44年
西有田中学校	62年

▲町内小・中学校校舎の築年数表

273人・大山小210人・有田中259人・西有田中250人。計1569人である。今後の見込み数は、1歳から6歳まで、4月現在で781人である。6年後は全体で279人減少する見込みである。

**議員** 町の人口対策は。町長 少子高齢化はこの町でも大変厳しい問題だ。効果は出にくい、教育の充実を

め、移住・定住対策を続けて行っていく。

**議員** 全国で少子化による小・中学校統合や廃校が進んでおり、令和3年までの3年間に437校（全体の17%）が統合されている。県内の

状況は。教育長 県内の学校数は小学校が155校、中学校が79校（内、小中一貫校は、佐賀市・小城市に5校）、義務教育学校が6校（多久市・玄海町・大町町・伊万里市）である。今後、白石町や伊万里市でも統合する計画があると聞いている。

**議員** 校舎の経年劣化



▲築62年の西有田中学校校舎外観

や人口減少を考えると、町でも学校や保育園などの統合を想定し、速やかに検討する時期。是非、早急に審議会の立ち上げを。

教育長 町全体の校舎の状態など考えると、12月議会に上程し審議会の方向性を定めたい。  
**議員** 審議会は教育関係者だけでなく、町の幅広いメンバーなど

と意見交換してほしい。教育長 保護者や区長、地区の方々など幅広く求めていく。

### 戸杓川法面と側溝整備

**議員** 戸杓川法面が水流で浸食され崩壊している。また、近くの町道から雨水が流れ込んでいるが側溝が整備されていない。法面整備と町道の雨水処理工事を一緒に行ってほしい。

建設課長 河川法面は昨年県にもお願いしている。土木事務所も優先順位をつけて対応されており、すぐには難しい。町道側溝の流末処理は、塩ビ管を設置して対応する。土木事務所が戸杓川の護岸整備を実施される時は、あわせて町道側溝流末も整備したい。



なかしま たつろう  
中島 達郎 議員

# 長寿社会に見合った民生委員の活動費を

**答** 超高齢社会を迎え活動費の増額を協議したい

## 社会保障費（扶助費）の動向

**議員** 令和2年度の扶助費が、約14億1千万円。3年度は約19億4千万円と、約37%も増加しているが。

財政課長 国の政策による住民税非課税世帯と子育て世帯への、臨時特別給付金約4億7千万円が主な要因である。扶助費は今後も様々な要因で増加していくと推測している。

**議員** 3年後に超高齢社会を迎え、今以上に民生委員の役割が重要となり、また担い手を探すのも大変であると思う。現状の活動費（実費弁償費）では低いと思うが。

健康福祉課長 民生児童委員の一人あたりの活動費は年額9万円であるが、地域の社会問題は年々複雑化、多様化していることに伴い

活動量も増えていると思われる。この事も踏まえて、活動費について町民生児童委員協議会と協議を行いたい。

**議員** 周辺市町と比べても低いので、増額をぜひお願いする。



▲松浦鉄道 MR600形

## 地域の公共交通機関 松浦鉄道の今後

**議員** 運転免許証を自主返納した高齢者を対象に、MR1日乗車券（@2,500円）の無償配布を。

まちづくり課長 町の単独事業とした場合、

JRが利用できないので、行先が伊万里・松浦方面に限定されるなど、身近な公共交通としての効果が期待できない。フレイル（加齢などによる心身機能の低下）予防の外出支援としての効果があるのかどうか、アフターコロナを見据えて検討していきたい。

**議員** 町では令和3年度も松浦鉄道対策事業に、枕木交換や路線の橋梁整備費など、総額692万3千円を支出している。また沿線自治体の支出総額は1億9475万円であるが、今後の松浦鉄道に對しての町の考えは。

まちづくり課長 松浦鉄道自治体連絡協議会では、令和5年度まで施設整備事業計画に基づき、従来通り支援する。令和6年度以降については、令和3年度に行った沿線地域の交

通の在り方に関する調査・研究の報告書を基に、様々なケースを想定して検討を行っている。

町長 通勤、特に通学に欠かせない地域の交通手段であり、また観光鉄道としてのPRにも力を入れ、フレイル予防への活用なども連絡協議会に提案したい。

## 町の遊休普通財産（建物・土地）の有効利用

**議員** 普通財産を活用して、平時はスポーツ合宿所、災害時は避難所として利用できる多目的避難所の整備を。

生涯学習課長 スポーツ施設が分散しているので、合宿所の整備は難しい。

総務課長 避難所単独の整備計画は、現在予定していない。

**議員** 避難所や合宿所としても利用可能なトレーラーハウス（コンテナ）の活用を。

町長 避難所や合宿所の整備は、今後の参考としたい。



▲コンテナハウス

# 教育環境の再編が必要ではないか



池田 栄次 議員

## 答 12月議会に審議会条例案を

### 教育環境の再編を

#### ▽有田町の将来人口

**議員** 学童減少が話題になってきた。町の将来人口はどうか。

学校教育課長 いくつかの資料でも、10年後の年少人口(0~14歳)は2割ほど減ると推計されている。

#### ▽学童数の現況と将来

**議員** 今の小中学生が次の小中学生と入れ替わる時点で、どう変化するか。

学校教育課長 今は両校の中学生が509人。4校の小中学生が1060人。1~6歳児が全員小学生になるときは約4分の1が減って781人となる。

今の小学校6年生と1歳児との人口差がマインス66人、率にして37.7%が減少する。この傾向は続くと思う。

(単位：人)

	中学校			小学校						6歳	5歳	4歳	3歳	2歳	1歳
	3年	2年	1年	6年	5年	4年	3年	2年	1年						
有田小学校区	95	86	78	18	12	16	12	18	20	13	13	11	10	11	12
有田中部小学校区				88	82	68	84	80	79	72	88	65	60	58	50
有田中学校区小計				106	94	84	96	98	99	85	101	76	70	69	62
曲川小学校区	75	91	84	32	58	49	55	37	42	31	32	22	39	22	22
大山小学校区				37	44	31	43	24	31	25	28	26	22	24	25
西有田中学校区小計				69	102	80	98	61	73	56	60	48	61	46	47
合計	170	177	162	175	196	164	194	159	172	141	161	124	131	115	109
3学年ずつの計	509			535			525			426			355		
6学年ずつの計				1,060						781					

\* 児童生徒数：令和4年5月1現在

\* 1~6歳：令和4年4月1現在

▲中学生から1歳児までの人口

**▽学校再編の検討を**  
**議員** 再編の議論を急ぐ必要がある。現時点で想定される方法は、  
教育長 学校再編に

は、小規模校同士の統合や一定規模を目指した標準規模校、3~4校を統合して新たな学校の設置、小中一貫校

や義務教育学校の設置、現状存続の考えもある。

12月に学校のあり方等を審議する審議会条例案を上程し、子どもたちにとってどのような形の教育のあり方が最適なのかを考えたい。

### 分収林の分配割合

#### ▽立木の財産・相続権

**議員** 配分割合の改定はどうなったのか。立木には財産権・相続権がある。年を経る程に相続は複雑になる。町は育林者の世代交代や町職員の異動等でも、継続した研修会の開催義務がある。

農林課長 研修会の開催までには至っていない。

皆伐後の配分割合は、財産管理委員会や育林者90%、町10%と決めた(答弁後にも確認)。

#### ▽法人等に管理委託を

**議員** 放置された山や所有者すら分からない山もあると聞く。自然破壊や害獣の住処となり、山は崩壊する。

国や県は税制も作った。町はこれらの税や補助金等でそれらを業とする法人に一連の業務を委ね、町の縁を守って欲しい。人的雇用も可能になる。

町長 町も緑豊かな山を保全する義務がある。国や県からの譲与税も有効に使い、森林の保全に努めたい。

#### ▼分収林の分配割合の再説明

農林課長 分収林の分配割合の改定は皆伐後に再契約を行う場合を条件とした改定内容で、説明不足だった。

**議員** 条件付きの改定要請はしていない。議事録を確認すべきだ。議長 議事録の確認を求める。



手塚 英樹 議員

# 町民との対話集会を

## 答 タウンミーティング実施を検討している

**町長と町民との対話は**

**議員** コロナ禍で3年間は対応に追われてタウンミーティングができなかった。町民はコロナ不況や円安、物価高騰など将来に不安を抱いており、町長の今の考えや思いを知りたいと思っている。

**総務課長** 今年は有田町総合計画を見直し、後期計画を策定する年。そこで町民の意見をお聞きするタウンミーティングを実施したいと考えている。幅広い年齢層に参加していただけるように検討したい。

**町長** 以前もタウンミーティングを検討していたがコロナ第5波の到来でできなかった。第7波がきている中で、どの様な形でできるか検討し、今年度こそぜひ開催したい。

### 町長と町民との対話は

### 玄海原発避難受け入れ

**議員** コロナ禍で3年間は対応に追われてタウンミーティングができなかった。町民はコロナ不況や円安、物価高騰など将来に不安を抱いており、町長の今の考えや思いを知りたいと思っている。

**議員** 日本政府も電力不足を補うため原発再稼働に向けて動き出した。有田町は伊万里市の伊万里地区、牧島地区の避難者を受け入れるようになってきている。町の対応は。

**総務課長** 8月に佐賀県原子力環境安全連絡協議会が開催された。新型コロナウイルス対策や避難時の渋滞など課題が示された。



▲伊万里市避難マップ

**議員** 有田町での受け入れ場所は、公共施設各地区の公民館となっている。受け入れの対策は行われているか。

**総務課長** 37施設が避難場所となっている。令和2年に伊万里市からの受け入れ訓練を行った。

**議員** 区長の引継ぎ時に渡せる避難受け入れファイルを作っては。総務課長 避難受け入れには経路や駐車場などの問題があり、今後検討していく。

### 台風など避難情報

**議員** 8月からケーブルテレビで南原、蔵宿、立部、大木宿の4カ所の河川の様子が24時間ライブで見ることができるようになった。有田町からの緊急避難情報等は防災無線・ケーブルテレビ・携帯メッセージと各放送局のテロップである。さらに役場からケーブルテレビを通じて生放送で町民に直接伝えるシステムを導入できないか。

**総務課長** 現在、情報伝達の多様化と多重化が迫られている。検討はするが、災害対策室での人的な問題も



▲有田ケーブルテレビ

あり、実現は今のところ難しい。

**町長** リアルタイムで情報伝達する手段として、有田町のホームページを利用するなど検討する。

**議員** 緊急時に、生の声・顔の表情で緊迫感が伝わる。災害避難は初動が大切である。町民の安心安全のために検討をお願いする。

一般質問とは、議員が町政について自由に質問をすることをいいます。質問する項目は事前に通告します。時間内であれば納得がいくまで何度も質問できる「二問一答方式」を採用しています。

# 飼料価格高騰、畜産農家への支援は



福島県議会議員 日人 福島

**答** 現在1頭当たり7,500円である

## 繁殖・肥育農家への安定経営支援対策

**議員** 肥育に必要な餌となる飼料の原料は輸入に依存しているため、昨今の円安の影響を受け、購入価格が20・3%上昇するなど、国内の畜産農家経営は厳しさを増している。現在の有田町における繁殖・肥育農家や繁殖から肥育まで行う一貫経営農家の数と生産頭数の状況は。

農林課長 有田町内の「肥育農家」は5戸・繁殖農家は2戸・一貫経営農家は3戸が生産農家である。肥育牛約1000頭、繁殖牛約100頭が



▲輸入飼料の格納容器

飼育されている。**議員** 飼料穀物の主な輸入先は米国・ブラジル、オーストラリアが大きな割合を占めており、飼料にかかるコストが畜産農家の経営を圧迫している。どのような支援があるのか。農林課長 現在、1頭当たり7,500円の

支援を予定し、補正をお願いしている。町長 この問題は畜産農家だけでなく、他の産業にも言える問題である。畜産農家自体が厳しいという話は伊万里市長とも話しており、今回補正を上程したものである。今後、肉用牛農家を支えていくような支援を検討し、やっていきたいと思っている。

## 「肉用牛サポートセンター」の開設

**議員** 伊万里市は県内でも有数の肉用牛の産地である。近年、繁殖農家は高齢化や後継者不足の影響で廃業が相次いでいる。また、子牛の価格高騰は肥育農家の経営を圧迫した。そこで、JA伊万里は2019年11月に「肉用牛サポートセンター」を開設し、経営の



▲肉用牛（子牛）

安定を図るため繁殖や子牛の飼育などを代行している。「分娩、繁殖には経験や高度な技術や牛舎の構造の違いなどがネックになっていたため、サポートセンターでは空き牛舎を活用し、分娩室、飼

料倉庫や堆肥舎等も整備されている。有田町の肥育農家のサポートセンター活用状況は。農林課長 3戸の一貫経営農家がサポートセンターを活用されている。



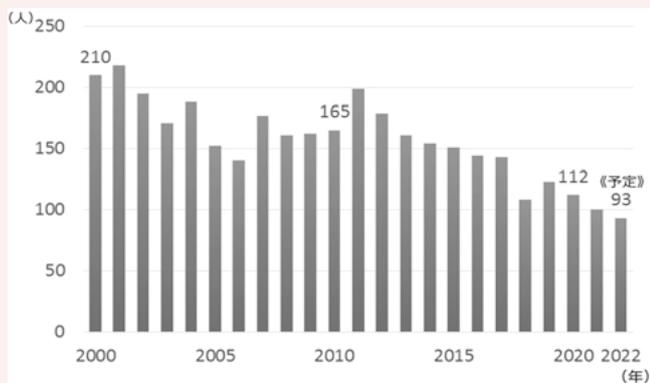
かじはら さだのり  
梶原 貞則 議員

## 少子化対策にふるさと応援基金による支援を

### 答 基金の有効活用をしっかりと考えたい

#### 少子化対策

**議員** 日本の出生数は、第一次ベビーブームの昭和24年270万人、第二次ベビーブームの昭和48年209万人をピークに、減少の一途をたどり平成27年には100万人、そして今年は80万人を下回ると予想されている。有田町の出生数は、2000年210人、2010年165人、2020年112人、2022年93人（予定）と推移している。この少子化に對してどのような施策を行っているか。まちづくり課長 婚姻に伴う経済的支援



▲有田町の出生数推移グラフ

を目的として、住宅の取得費・家賃・リフォーム費用等の一部を補助する、「有田町新婚新生活支援事業」を実施している。昨年の実績は4件で99万9千円である。

**議員** 良い施策なので、更なる周知、普及を図っていただきたい。ただ、このような施策を実施しても、少子化には歯止めがかか

らず、逆に加速しているように思われる。町長はどう思われるか。

**町長** 人口減少に関しては有田町だけではなく、国全体の問題だと思うので、国や県と連携する必要があるが、町独自の施策も打ってきたい。

**議員** この30年間、日本の労働者の収入が増えている中、消費税や介護保険料等の支出も増え、実質収入は減っている。そういう経済的不安が少子化の原因の一つだと思う。そこで、ふるさと納税基金の活用による支援をどうするか。昨年度末の基金残高は22億3千万円、一昨年末から4億7千万円も積み増している。もっと有効活用を図ってほしい。例えば結婚祝い金や、一人あたり10万円程の出産祝い金制度等を創設してはどうか。

**町長** ふるさと納税の有効活用については、将来の学校施設の整備等も含め、しっかりと考えていきたい。

**議員** 2年半も続くコロナ禍により、景気が悪化し、多くの方々の収入が減少している中、物価高騰や円安が追い打ちをかけている。その物価高騰の対策として、6月議会では、学校給食費に対して750万円、保育園とこども園の給食費に対して480万円の補助がなされた。しかし、今後も更なる物価上昇が予想される。

**ふるさと納税基金による給食費の無償化、ま**



▲こども園の給食の様子

たは何割かの補助等はできないか。

**町長** 町としても施策のポイントを考えていきたい。

**議員** 「子は国の宝」、「町づくりは人づくり」と言われる。このまま少子化が進めば国も町もなくなる。国に追随した少子化対策では少子化は解消できない。この有田町から日本のモデルとなるような、独自の施策、ロールモデルを始めていただきたい。決断と実行あるのみである。

# 災害対策を更に進めては



かもはら たみお 議員  
蒲原多三男

## 答 災害時、外部事業者との連携が必要

### 災害対策を更に進めては

#### ▽避難所体制づくりを

**議員** 毎年のように大規模な災害が発生して「災害大国日本」とまで呼ばれている。令和元年東日本台風・阪神・淡路大震災、東日本大震災等で長期の避難所生活を強いられた。その中でT（トイレ）K（キッチン）B（ベッド）の頭文字をとり、TKB推進運動がある。町指定の避難所のT（トイレ）は、

総務課長 泉山体育館・生涯学習センター・体育センター他、合わせて54基、内37基が洋式。7つの施設は多目的トイレがある。



**議員** 大災害時は避難所のトイレが汚く、飲食を控え栄養不足、脱水症状で健康を損なう方が多いと聞く。簡易トイレより2倍の広さと機能性の高い「快適トイレ」が、女性にも好評だ。  
総務課長 台風の避難者が多い。大規模災害や長期の場合は民間とも連携を考える。

#### ▽生命と生活を守る

**議員** 次にK（キッチン）だが、避難所の食事は。

総務課長 食糧、毛布は個人で準備することになっている。

**議員** 食事の関連事業者の方と事前に連携、協約し、緊急時の被災者支援を。

**議員** 最後にB（ベッド）だが、固い床にビニールシートで、雑魚寝するなど、プライバシー無しの避難所生活もある。

総務課長 ダンボールベッドを必要な時に組み立てて使う。

町長 大きな災害時は、TKB各事業者との連携が必要になる。

### 町民の、町政参加意識の向上を

#### ▽高齢化向けの施策を

**議員** 町内の高齢化率は35%を超え、日常生

活の支障も。町では、買い物や通院にデマンドタクシーの活用を推進している。概略は。

総務課長 西地区と古木場、境野、戸矢、南山の4地区で一度登録すると病院、スーパーへの目的で一日、6回の定時運行をドアトドアで利用できる。

**議員** 外出すること自体が大変な方もいるが。

商工観光課長 移動式販売は、3事業者が行っている。利用者の要望も聞き、主に食料品を時間を決めて販売されている。「地域商業活性化支援事業」として県、町で上限200万円の補助金がある。

**議員** 自宅まで送り届けるシステムは。

総務課長 県内では、10事業者が大手スーパーと提携し、代行販売

を行っている。町内にはない。

**議員** 時代の流れに感じる対応をお願いする。

#### ▽選挙の投票改革を

**議員** 若い世代や、高齢世代の投票率も低いのでは。移動自体が大変な方も多い。出張の地域限定投票とか、自宅投票の機会を増やせないか。

町長 各種ケースへの対応が必要。ただし選挙事務の複雑な面を考慮していかなければならない。

町長・町議選挙	投票率
平成18年（2006）	82.27%
平成22年（2010）	81.61%
平成26年（2014）	75.94%
平成30年（2018）	72.00%
令和4年（2022）	67.42%

▲町長・町議選挙の投票率



## 祝！有工甲子園春夏連続出場!!!

選手たちの健闘に感謝です。  
ありがとう甲子園！有工球児！

創立122年を誇る有田工業高等学校は有田町内で唯一の伝統ある工業高校です。有工野球部は昨年秋の九州大会での活躍が認められて、初めての春のセンバツ出場を果たしました。そこでの経験をバネに練習に励んできました。その結果、夏の全国高校野球選手権佐賀県大会では、数々の強豪校にあきらめない粘りの野球で競り勝ち、佐賀県では実に21年ぶりとなる春夏連続甲子園出場を果たすことができました。

◀赤く染まったアルプススタンドの有工応援席

## 有田町平和祈念式典

去る8月6日、広島に原爆が投下された日に、先の大戦における町関係戦争犠牲者の追悼及び恒久平和を祈念する慰霊式・平和祈念式が、焔博記念堂コンベンションホールで粛々と開催されました。町議会からは、正副議長、及び3常任委員長が参列し、黙祷と献花を捧げました。

また、同15日正午には、諸々の事情で長らく中断されていた「戦没者慰霊のサイレン吹鳴」も実施されました。



▲美しくも厳粛な会場

有田町議会  
HPはこちら



### ■議長交際費支出状況（令和4年7月～9月）

項目	件数	支出額(円)	備 考
会費	2	5,000	有田商工会議所通常議員総会会費他1件
雑費	2	49,500	有田町平和祈念式典供花料他1件
合計	4	54,500	

### あ と が き

市町村議会議員研修に参加した。テーマは「住民とのコミュニケーション対話」。

住民の考え方やニーズも多様である。先入観・固定観念・思い込みで見えていないか。特定の大きな声の人ではなく、その他いろいろな声を大切にして、相手を知る努力が必要である。

コミュニケーションを高める信頼の3つの要素は、  
①傾聴すること⇨相づち・うなずき・共感しているか。  
②引き出す力⇨頑張った時のごと、充実感、やりがいを感じた時を聞きとっているか。

③ほめ活かす⇨事実を、タイミングよく、心を込めてほめているか。  
伝えることを優先していた自分が、相手を知る事、相手の思いを聞き取る事の大切さを知らされた貴重な研修だった。

和彦

#### 議会広報発行特別委員

委員長 諸隈 洋介  
副委員長 樋渡 徹  
委員 浦川 和彦  
委員 岩尾 匡  
委員 久保田 豊  
委員 中島 達郎